

都市再生整備計画(第2回変更)

粟津駅周辺地区(第2期)

石川県 小松市

令和6年11月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	石川県	市町村名	こまつ市 小松市	地区名	あわづえきしゅうへん 粟津駅周辺地区	面積	27.2	ha							
計画期間	令和	4	年度	～	令和	8	年度	交付期間	令和	4	年度	～	令和	8	年度

目標

【大目標】粟津駅周辺の利便性向上による南部地域拠点としての賑わいの創出

目標1:『交通結節機能の強化』

・駅東西広場の整備と移動円滑化により、駅周辺の乗継ぎ利便性の向上やバリアフリー空間の創出など、駅を中心とした交通結節機能の強化を図る。

目標2:『安全安心な環境づくり』

・人々が集い賑わう魅力的な駅前空間の創出とともに、駅周辺の交通危険箇所の改善により、駅周辺市街地の安全安心な環境づくりを図る。

目標3:『賑わいの創出』

・駅東西の連携強化とともに新たな観光動線の形成により、多様な人々の交流を促進し、駅前商店街などの粟津駅周辺地域の賑わいを創出する。

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

本市では、中心市街地の人口減少、商店数の減少に加え、市の基幹産業である製造業の榊コマツ小松工場が平成22年に閉鎖し、さらに小松駅前の大規模商業施設の大和小松店が同年に閉店したことで、中心市街地の商業機能、都市の求心力が低下し、賑わいが失われている。市街化区域内の人口分布は、新市街地の小松駅東エリアにおいて増加傾向にあるが、旧来からの市街地である小松駅西側及び粟津駅周辺などで減少傾向にあり、DIDはS45当時小松駅西側にあったのが、H22時点で粟津駅周辺などに拡大し、グロス人口密度は約70人/haから約40人/haに減少している。このような中、小松市立地適正化計画(平成31年3月)においては、目指すべき都市の骨格構造と誘導方針について次のように示している。

【都市の骨格構造】

交通結節点となる「小松駅周辺」を南加賀地域の中心にふさわしい「中心拠点」、「粟津駅周辺」を南部地区交流の核となる「地域拠点」として位置付け、まちなかの魅力・賑わいの創出を図るとともに、土地区画整理事業等により整備してきた市街地や、歴史文化など様々な資源がある古くからの市街地を結ぶ既存の公共交通ネットワークを活用し、生活利便性、地域コミュニティの維持・向上を図る。

【都市機能及び居住の誘導方針】

◎都市機能の誘導方針:交通結節点での都市機能の維持・充実による魅力・賑わいの創出

◎居住の誘導方針:市街地の暮らしやすさの維持・向上

◎公共交通における誘導方針:市内公共交通の充実、利便性の向上

まちづくりの経緯及び現況

粟津駅周辺地区は、榊コマツ粟津工場や関連工場が集積する工業団地、ジェイバス本社・小松工場などがあり、南加賀地域の産業の中心として栄え、粟津駅と工場群の周辺に住宅地・商店街が広がり、また、魅力あふれる自然景観が広がる木場潟や粟津温泉への玄関口として、現在も小松市南部地区における拠点市街地を形成している。しかし、人口減少・高齢化の進行、商店・事業者の減少により、粟津駅周辺の交流拠点としての賑わいが失われてきている。また、駅西側へのアクセス路が駅から遠く、駅東西の市街地の均衡ある発展が課題となっている。

こうした中で、平成30年に粟津駅西土地区画整理事業が完了し、令和2年に公立小松大学の粟津キャンパスが開学するなど、粟津駅周辺において、都市機能の集積が図られており、これを契機に駅周辺の交通結節機能の強化を図り、駅の利用者数の増加や周辺の活性化を目指して「国際都市こまつ」を発信するための更なる整備・活動を行い、賑わいの創出を図ることが求められている。

課題

■粟津駅を含めた公共交通の利活用促進、交通危険箇所の改善による環境整備が必要である。

■駅周辺整備の波及効果により、既区画整理地における宅地化を促進し、定住人口の増加を図る必要がある。

■地域の顔となる駅前商店街の衰退を抑制する取り組みにより、小松大学の学生や新幹線開業後の観光客との交流促進が求められる。

将来ビジョン(中長期)

【小松市都市デザイン(令和2年9月改訂)】

・『北陸の際立ったまち「国際都市こまつ」』に向け、5つの視点と10の都市像を掲げ、都市デザインの実現に向け取り組むものとしている。

【小松市都市計画マスタープラン(令和元年12月)】

・『みんなが学び活力あふれる国際都市こまつ』を基本理念とし、「空路、鉄道、道路の優れたアクセス力(空港・駅周辺の魅力向上)」「北陸の成長を牽引する産業都市(公共交通等の交通基盤の整備)」等の基本目標を掲げている。

・地域別構想においては、符津・矢田野地区のまちづくりの目標を「粟津駅周辺の拠点性を活かし、賑わいにあふれ利便性の高いまち」とし、広域交通機能の充実と活用、こまつの魅力・活力を高める土地利用や都市基盤の整備、定住と交流の拡大などを謳っている。

【NEXT10年ビジョン(平成27年11月)】

・南部エリアの交通拠点「粟津駅」においては、ものづくりビジネス、環境王国、高等教育の玄関口として南部エリアの発展をリードするものとしている。

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

本市は、JR小松駅、JR粟津駅の両駅周辺において、医療・福祉・商業施設の全てが徒歩圏に含まれる地域となっており、立地適正化計画において「交通結節点の小松駅、粟津駅周辺の賑わい・交流の創出、魅力・活力増進に向けた多様な施設の維持・誘導」を図るものとし、都市機能誘導区域に指定している。
 JR粟津駅周辺は、駅を中心とした交通結節機能のほか、駅前商店街や榎コマツ粟津工場等を中心とした経済機能、図書館等の公共公益機能をもとより有しているところである。駅前の地域商業地においては、周辺住民の日常生活や交流の核となる地域拠点として、店舗の集積や生活サービス機能の充実を図るものとしている。また、東西連絡機能の強化を図るとともに、通行の安全性・快適性の向上と賑わい創出による交通拠点としての機能強化を図るものである。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
粟津駅周辺地域の人口	人	符津町、松生町、蓑輪町、島町の人口	駅西広場や東西連絡通路の整備により、駅東西の往来を円滑化することで、駅東西の均衡ある発展を促し、人口の過年度推移に基づく上昇志向の維持や、既区画整理地における居住人口の増加を見込む。	4,497人	R2	4,580人	R8
粟津駅利用者数	人/日	JR粟津駅の日平均乗降客数	駅東広場及びバス乗降場の整備により、交通モード間の乗り継ぎ利便性の向上と駅前の環境空間の充実を図ることで、学生等の利用促進とともに、バリアフリー化効果による駅利用者の増加を見込む。	2,589人/日	R1	2,680人/日	R8
粟津地区商店街の歩行者数	人/日	駅周辺商店街における休日の日当たり歩行者数	東西連絡通路の整備により誘発される駅周辺の歩行者数の増加を見込む。また、レンタサイクル事業や案内サイン設置により、駅・観光地間の回遊性を向上させ、商店街への立ち寄り利用を誘発する。	847人/日	R1	960人/日	R8

整備方針等

様式(1)-③

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【交通結節機能の強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅西側の工場集積地と駅東側の既成市街地とを連絡する立体通路を整備し、東西連絡の利便性を向上させることにより、まちなか(商店街)の歩行者数の増加を図り、賑わいを創出する。 ・駅西側において交通広場を整備することで、連絡通路との機能連携による駅東西の往來の円滑化とともに、駐輪場やバス乗降場の配置により粟津駅の交通結節機能の強化を図る。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路:東西連絡通路整備事業 ・地域生活基盤施設:駅西広場整備事業、駅西駐輪場整備事業 <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活用調査:事業実施効果調査
<p>【安全安心な環境づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存駅前広場を再整備し、駅周辺の交通危険箇所の改善のほか、駅前環境空間の拡充整備による公共空間の利活用を通じた交流促進を図る。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活基盤施設:駅東広場整備事業 <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業活用調査:交通社会実験
<p>【賑わいの創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅東西広場や主要交差点において、案内サインを整備し、駅周辺施設との連携を強化するとともに、駅周辺の回遊性を向上する。 	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域生活基盤施設:案内サイン整備事業 <p>【提案事業】</p>
<p>その他</p>	
<p>【まちづくりの住民参加】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR粟津駅周辺地区においては、平成24年に「粟津駅周辺整備協議会・粟津駅周辺を考える会」のもと、符津町(粟津駅前地区)、菟輪町、松生町、粟津駅前商工会により、地域住民間の意見交換を行い、住民ニーズを把握しながら官民一体となった駅周辺整備基本計画を策定しており、本都市再生整備計画の事業内容に反映している。現在、駅周辺の住民活動は、粟津駅前商工会による粟津駅前商交祭や朝市といったイベントが行われており、駅周辺の賑わいの創出に努力している。本事業により整備する駅東広場(環境空間)の活用により、さらなる賑わい創出の相乗効果の発現を目指すものである。 	

